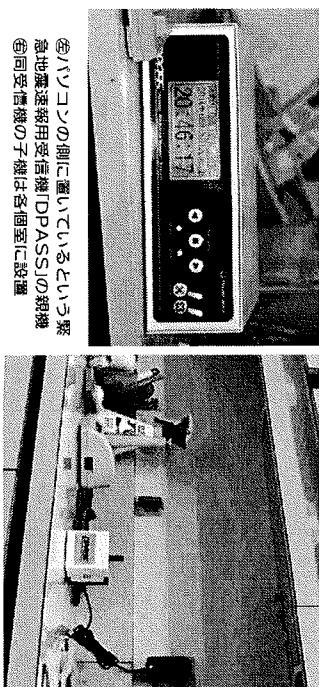


【株式会社日本歯科新聞】
昭和42年創刊 毎週火曜日発行(月4回、年間48回)
日刊紙大 通常6~10P 発行部数:約21,000部

患者・スタッフを守るため



対応策が明確化

地震速報受信機を導入

渡辺 徹也 氏 (東京都台東区)

本社・東京支社・茨城・埼玉・群馬・栃木・福島の各営業部にて、地震速報受信機の導入が実施されました。この機器は、地震が発生した際、その揺れを感知して、事前に警報を発する機能を持っています。これにより、患者やスタッフが安全な状態で診療活動を行えるようになります。

導入された機器は、IPASSという緊急地震速報受信機です。これは、パソコンの側に接続され、地震の揺れを感じると、自動的に警告音が鳴り響く装置です。また、この機器は、地震の揺れを感知すると同時に、データを送信する機能も持っています。

導入された機器は、各個室に設置されています。これにより、各個室での診療活動がより安全に行えるようになります。

この機器の導入により、地震に対する対応策が明確化され、診療活動がより安全に行えるようになります。